

「働きやすさ」をつくる 経営改善研修会

みんなが働きやすさややりがいを実感できる職場環境づくりの実現を目指して、山口県は今年度、農林漁業経営体の経営者等を対象にした研修会を開催。県内各地から集まった約100名の参加者が、講師やパネラーの事例をもとに経営改善の具体的な取り組みや手法などについて学びました。

研修会で紹介された取組事例紹介の動画はYouTubeでも公開中。ぜひご覧ください！



講演 「働きやすさ」をつくる経営改善

講師はファームサイド(株)代表取締役 阿部梨園 マネージャーの佐川友彦氏。従業員の立場から阿部梨園の経営改善を実現した自身の事例紹介と、取り組みを進めるにあたってのポイントなどを教えていただきました。

おいしい梨で評判の世間のイメージとは裏腹に、農園が抱えていた数々の経営課題に直面した佐川氏は、インターン期間中に百件の業務改善を実施するという目標を掲げ、すぐにできることから改善の取り組みを開始。最初に行ったのは職場内の掃除。職場がきれいになり、快適に働けるようになったとみんなに喜ばれたそうです。掃除や整理整頓は何が変わったかが見えてわかる上に、他の従業員とのコミュニケーションのきっかけにもなり、とても有効だったとのこと。また、労働条件や待遇などの改善を進めた結果、従業員のモチベーションが上がって職場の雰囲気も良くなり、採用も増えて人材の質や生産性が向上。

これら数々の実体験を踏まえて佐川氏は、「何かを変えようと思ったら自ら率先して動くこと」「従業員の未来を真剣に考えてあげることが大切」などいくつかの要点を挙げた上で、「課題があるということは改善の余地もポテンシャルもまだまだあるということ。万策尽きてはいない。すぐに実施できる小さなことから改善に取り組んでほしい」と結びました。

取組事例紹介(動画視聴) パネルディスカッション

「働きやすさ」をつくるコツ

続くパネルディスカッションでは(株)江越農園の代表取締役・江越正和さん、取締役・江越律子さん夫妻と、(株)エスケイサービスの代表取締役・小早川さえ子さん、専務取締役・小早川慶之さん夫妻がパネリストとして登壇。両社の取り組みを紹介する動画を視聴した後、佐川氏をコーディネーターに迎えて意見を交わしました。その一部をご紹介します。



(株)江越農園の江越律子さん・江越正和さん

佐川「働きやすさ」を確保するために取り組まれていることは？

江越(正) 私の根本にあるのは、一緒に働いてくれている従業員への感謝の気持ち。一日も長く元気で働いてもらいたいので、気兼ねなく休める態勢や保険などを整えています。仕事上の雑談も、手を動かしてさえくれればOKです。年2回の個別面談で出た意見や要望にも可能な限り対応して、育児休業の整備も面談の声を反映しました。

小早川(さ) 弊社は従業員の9割以上が女性なので、一人ひとり

への目配り、気配り、心配りを常に心がけています。また、年に一度は対一の面談を行って、従業員の声を吸い上げるようにしています。家庭や育児との両立がしやすいよう、休みの希望を叶えたり、出勤・退勤時間が自由に選べるシフト制を採用したりもしています。

江越(律) 取り組み以前に、私たちの意識改革が必要でした。代表と私で経営会議を開き、経営理念から話し合いました。また、従業員同士の交流も兼ねたランチミーティングをお昼休憩の時間で始めたのですが、ミーティングは休憩時間外で行ってはどうかと従業員から提案があり、11時半〜12時をミーティング、12〜13時をランチ会に変更しました。

小早川(慶) 個人面談でも要望のあった休憩室や女性専用トイレは、国の補助事業に応募して何とか整備することができました。仕事を終えてから毎晩パソコンに向かい、何度も書類を書き直しました。それがとても大変でし



(株)エスケイサービスの小早川慶之さん・小早川さえ子さん

参加者の感想



代表取締役 **平岡 誠** さん

岩国市・株式会社デナリファーム

現在19名のパート従業員を抱えており、みんなが無理なく働けるよう自由出勤制度を採用していますが、事業拡大に伴って職場環境の整備が必要になると思い研修会に参加しました。みなさんの事例を聞いて、まずは従業員とのミーティングなどを検討したいと思いました。

参加者の感想



代表理事 **柴岡 寛瑛** さん

美祿市・農事組合法人植柳ファーム

美祿市植柳地区で水稲、大豆、野菜の複合経営を行っており、社員1名とアルバイト約20名を雇用しています。今回研修会に参加して、改善すべきことがたくさんあると気付きました。個人面談を設けることや、データの蓄積と活用、女性に配慮したハード面の整備も必要ですね。

ステキ女子活躍推進補助金を活用した経営改善事例

山口県では、やまぐち農林漁業ステキ女子による経営発展に向けた新たな取り組みに対して、必要な経費の一部を補助しています。商品開発から販路開拓、労務改善や人材育成まで幅広く利用できるのが特徴で、実際にたくさんのステキ女子がこの補助金を活用して、新たな一歩を踏み出しています。

ステキ女子活躍推進補助金

【補助率】 1/3以内(予算の範囲内)
【事業費】 下限:10万円 上限:100万円

【対象の事業】
○商品開発・改善(商品試作、パッケージ開発、成分分析、事例研究等)
○市場調査(アンケート調査、消費者モニター調査等)
○販路開拓(商談会出席、パンフレット・チラシ等の作成)
○販売促進活動(販売促進資材の作成、イベント開催等)
○労務改善・人材育成(新たな資格の取得、人材の募集等)



販促資材の作成と販路拡大の活用事例

- のぼり
- テーブルクロス
- 食品サンプル



販促強化で魅力を発信。
私は農業大学のやまぐち就農支援塾で6次産産化を知り、いずれは加工品も作りたいと考えていました。ところが、就農してトマト栽培を始めた年に出荷できないトマトが数百キロも出てしまっ、やり場に困って破棄したんです。これは何とかしなきゃと思い、もつと先のことだと思っていた商品開発に取りかかりました。最初に作ったのはレトルトカレーで、ジュースやジャム、ケチャップも商品化しています。

加工は専門業者さんに委託しているのですが、作ることは自分です。販促を強化する予定です。なかなか大変で。そこでステキ女子活躍推進補助金を活用して、農園のロゴが入ったのぼりやテーブルクロス、食品サンプルなどの販促資材を作成しました。こういう資材があると遠くからでも目立つし、売り場が華やかになりますよね。マルシェや商談でフル活用しています。すべて自費で作るとなるとなかなか手が出ないので、補助があると本当にありがたいです。今年は農園紹介のパンフレットと商品をアピールするのぼりを作って、さらに販促を強化する予定です。

いま え あや か
今榮 綾香さん
ごろうのはたけ
山口県山陽小野田市大字植生
<https://www.instagram.com/goro.no.hatake/>



1991年、山口県下関市出身。関西で飲食店経営をしていた夫が突然農業に目覚め、就農地を探して地元山口県にたどり着く。2016年に夫婦そろって農業大学のやまぐち就農支援塾を受講。2018年に祖父の家がある山陽小野田市で就農し、夫婦でいちごとミニトマトを栽培している。

食用バラで女性を笑顔に。

両親が育てたバラを直接お客さんに届けたくて、島に帰ってきました。サイトを立ち上げたり、マルシェに出店したりして、バラの魅力を発信していったんですが、ある時知人に紹介された京都のバラ園で食用バラの栽培に出会い、花が食べられることに衝撃を受けました。高専、大学と理系畑だった私は、よく周囲の男子に女子へのプレゼントを相談されていたので、「これだ!」って思いました。花とお菓子は世代も時代も国境も超えて女性に喜ばれると確信してましたから。

2016年に食用バラの栽培を始め、昨年念願だった加工品開発に挑戦しました。地域女子会で東京のマルシェに出店することが決まっていたのと、ステキ女子活躍推進補助金に背中を押された結果ではあります(笑)。加工所の方と試作を重ね、成分分析などの検査も行って、納得のいくローズシロップを発売することができました。今後は県東部の仲間たちとも力を合わせて、販売の方に力を入れていきたいと思っています。



商品開発と試作販売の活用事例

ローズシロップ
バラ、甜菜糖、レモン、はちみつだけのシンプル素材



おお うち きよ か
大内 清香さん
大内バラ園
山口県周防大島町
<https://ouchi-rose-farm.storeinfo.jp>



山口県周防大島町出身。高等専門学校から九州の工業大学に進み、卒業後は東京でシステムエンジニアをしていた理系女子。東日本大震災をきっかけに2013年にUターンし、家業の大内バラ園の魅力を発信しながら、独自に食用バラの栽培を開始。加工品開発にも挑戦している。

宇部・美祢 地域

地域女子会が主体となり初のマルシェを開催!

宇部・美祢地域では今年度、マルシェをやりたいと声を上げたメンバーが中心となり、2023年6月に「宇部・美祢地域ステキ女子マルシェ実行委員会」を立ち上げました。マルシェの企画や会場選びなどすべて自分たちで検討を進め、10月に山口宇部空港ふれあい公園で宇部・美祢地域女子会初の独自マルシェを開催しました。



地域女子マルシェ開催までの道のり

6月

実行委員3名が集まって1回目の実行委員会を開催!



7月

候補地を見て回り、山口宇部空港に隣接する「山口宇部空港ふれあい公園」に会場を決定



8月

経験を積むため、おのだサンパークで行われた山口ダイハツ販売(株)とのコラボマルシェに参加



地域女子会独自のマルシェを開催している岩国へ視察!



10月

2023年10月28日(土) マルシェ当日!



10月28日、地域女子会メンバー10名が出店する初のマルシェがスタート。実行委員自ら地域メディア各社を回って広報した甲斐もあり、開始前から行列ができるほど多くのお客さんで賑わいました。子育て世代を意識して設けた託児コーナーや景品つきのクイズコーナーなども大人気!

出店者も来場者も、家族みんなで参加して、交流して、和気あいあい。笑顔あふれる楽しい一日となりました。実行委員会では今後もマルシェを継続して、消費者と直接ふれあえる場を設けていきます。

令和5年度の

やまぐち農林漁業ステキ女子の取り組み

ステキ女子を目指して様々な取り組みが進んでいます!



柳井・大島 地域

マリッサリゾート サザンセット周防大島に 「農業女子コーナー」を開設!

柳井・大島地域は、「やまぐち農林漁業ステキ女子応援団」でもあるリゾートホテル「マリッサリゾート サザンセット周防大島」の2023年7月オープンに合わせて、同ホテルとコラボして、お土産やグッズを販売するショップの一角に「農業女子コーナー」を開設。地域女子会の紹介や、作り手の顔が見えるポップも作成していただき、とてもステキな売場が完成しました。



写真講座で発信力UP!

SNS発信や商品PRに欠かせないのが、ぱっと目を引き、魅力を伝えることができる写真。「撮影方法を習いたい」というメンバーの声を聞き、2023年10月に写真講座を開催しました。プロフォトグラファーの渡辺美沙氏を講師に迎えて撮影の基礎知識を学び、スマホを使った撮影を体験。持ち寄った商品を被写体に、一人ひとり指導を受けながら講義で学んだことを実践しました。



地域リーダーたちに聞く

これからの地域農業をリードするステキ女子たちの活躍

萩市農業委員 松田 由美子さん

農業委員になったきっかけ

行政の方から、前任者が辞められるのでやってみないかと、声をかけてもらいました。これも勉強かなと思って引き受けました。農地確認と毎月の定例総会に出席するのが主な仕事です。

農業委員をやってみて

いろんな会合で若い人ががんばっているよ、と聞くんですけど、顔が見えなかったので、萩市長に「若手農業者の交流会をしてください」とお願いしました。そしたらすぐに交流会が開催されて、とても大きな若者の輪ができました。これも農業委員をやったから気づいたことかなと思います。若い人のつながりを作っていくことも大切な仕事だと思います。

若手農業者に伝えたいこと

これから高齢化が進む中で、若手農業者たちがいるんところで活躍することが大事だと思います。なので、もし農業委員をやらないか、推進委員をやってみないかという声かけがありましたら、ぜひ引き受けていただきたいと思っています。



まつだ ゆみこ 松田農園
松田 由美子さん 山口県萩市吉部下

1970年、山口県萩市出身。「千石台だいこん」を育てる農家で生まれ育ち、働きづめの両親を見て農業は絶対にしないと心に決める。広島で専門学校で和裁を学び、呉服店に就職。約20年前にUターンして家業を手伝うようになり、次第に農業に目覚めていった。約3haの農地で大根と人参を生産しながら、現在は経営にも加わっている。

長門市農業委員 河野 八千代さん

農業委員の仕事

荒廃農地がないかを確認して回る「農地パトロール」をしたり、農地が荒廃に至らないように考えていくのが主な仕事です。地域農業の振興や活力あるむらづくり活動等に取り組む農家生活改善士も務めさせていただいており、山口県農家生活改善士会の会長をしています。

農業委員をやってみて

地域のお世話をさせていただくようになって、後継者の問題だとか、農業の未来も少しずつ考えるようになってきました。泥だらけの農業っていうのもすごく魅力を感じますが、また違う視点で、新しい農業のやり方も学びながらお伝えできたらなと感じています。

若手農業者に伝えたいこと

長門市でも県域でも、地域活動やいろんな学びの場、研修の場がたくさんあります。私も実際に参加してみて、たくさんの学びがありました。新しい勉強や視野を広げる意味でも、そういった場に参加されるといろいろためになると思います。



かわの やちよ ベジふるトレイン
河野 八千代さん 山口県長門市俵山

1966年、山口県下関市出身。両親は海運業に従事し、農業とは無縁の環境で育つ。自動車会社の事務職に就き、結婚して長門市俵山の米農家へ。子育てが一段落してから農業を本格的に始め、野菜ソムリエの資格も取得。「ベジふるトレイン」として自家栽培米や地元農産物を使った加工品を製造販売しながら、地域食材の魅力を発信している。山口県農家生活改善士。

周南市 農地利用最適化推進委員 須田 加弥子さん

農地利用最適化推進委員になったきっかけ

農業委員をされている女性の先輩農家さんから、農地利用最適化推進委員をやってみませんか？と声をかけていただき、やることにしました。

農地利用最適化推進委員の仕事

遊休農地がないかどうか、どういう作物が栽培されているかなど、農地のチェックを年一回行うことが主な仕事です。年々、遊休農地や荒れてしまう土地が多くなっているので、高齢化が進んでいる中で、次の世代へなるべく早くつないでいくことが大事だと実感しています。

若手農業者に伝えたいこと

農業の色んなものを教えてくださる方々が元気なうちに、もっとたくさんの方に農業に就いていただいて、日本の食を守っていけたら良いなと考えています。

すだ かやこ
須田 加弥子さん

fudo kan Bamboo
山口県周南市須万
<https://www.fudokanbamboo.com/>



1978年、千葉県出身。東京の短大を卒業後アパレル会社に就職し、出版社に勤めていた夫と結婚。子どもの誕生をきっかけに食と農業に関心を持つようになり、2011年の東日本大震災を機に周南市須金地区へ家族4人でUターン。里山の遊休農地で唐辛子を生産しながら、加工品の製造販売やキッチンカーでの販売も行っている。



やまぐち農林漁業ステキ女子【山口県農林水産政策課】
@nouringogyousutekijoshi



募集対象 企業・団体等の皆さま

- ステキ女子と連携した取り組みや情報発信で新たな顧客開拓につなげていきたい
 - ステキ女子の生産物やアイデアを活かしてお客様に新しい価値を提供していきたい
- やまぐち農林漁業ステキ女子とノウハウを共有したり、補完し合ってお互いの活動を一緒に広げていく意欲のある企業・団体等を募集しています。連携した取り組みや情報発信に興味がある方をお待ちしております!

主なコラボ活動の内容 企業や団体ごとに取り組み内容も様々!

● マルシェ

山口ダイハツ販売(株)とコラボした「やまぐち農林漁業ステキ女子マルシェ」を開催

移動販売パッケージ「Nibako」に商品をディスプレイ



● 売り場づくり勉強会

JAGDA山口((公社)日本グラフィックデザイナー協会山口地区)とのコラボで売り場づくり勉強会を開催



登録から活動までの流れ

STEP 1 ステキ女子を知り一緒に活動する

- 個々のステキ女子とつながりを持つ。
- 連携活動(マルシェ開催場所の提供など)や、情報発信(ポスターの掲示やパンフレットの設置など)を支援する。

STEP 2 やまぐち農林漁業ステキ女子応援団に登録する

登録申込書を山口県農林水産部農林水産政策課に提出。
過去の連携活動の実績や、今後応援団としてステキ女子とともに取り組んでいきたい内容を記入する。

STEP 3 ステキ女子を応援し活動を深める

- マッチングイベント等で新しいステキ女子と出会う。
- ステキ女子とともに、新たな連携活動に取り組む。
(商品開発、活動場所の提供、情報発信やPR、経営発展支援など)

応援団の詳細はこちら

お問い合わせ

山口県農林水産部 農林水産政策課 農山漁村女性活躍推進班

TEL 083-933-3370 〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号 FAX:083-933-3339 メール:a17100@pref.yamaguchi.lg.jp



募集対象 山口県内の農林漁業を職業とする女性

山口県内の農林漁業を職業とする女性で、「きれい」に「輝き」ながら、「かしこく」「かせぐ」農林漁業女子を目指し、登録メンバー間の情報交換や取り組みの情報発信等にご参加いただける方を「やまぐち農林漁業ステキ女子」として募集しています。ステキ女子として個々の思いを共有し、学び合いながら、自身の経営発展につながる様々な活動(ステキ女子プロジェクト)に参加してみませんか。一緒に、農林漁業の魅力を広く情報発信していきましょう。

主な活動内容

取り組みへの参加は自由!
興味のあるものを選んで参加できます。

- ステキ女子間の情報交換
- ステキ女子プロジェクトの活動(マルシェの開催など)
- 異業種とのコラボ
- SNSで情報発信

Facebookにて

やまぐち農林漁業ステキ女子の活動や最新情報を発信中!



PICK UP

生産物を活かした商品開発、マルシェ出店、就業ガイダンスへのゲスト出演など様々な活動から新たなつながりが生まれています。

就業ガイダンスで林業の魅力や体験談をトーク!



下関市・永見 優子さん

マルシェで地元産乳製品のPR!



下関市・岸田 妙子さん

地元で獲れたイカスミを使ったシフォンケーキを製造販売!



萩市・家田淑美さん 佐々木麗子さん

◀ 関心のある方は、左記のお問い合わせ先にお気軽にご相談ください

漁業

をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口へ相談
- 山口県独自の漁業就業支援フェアに参加し指導者とマッチング
- 就業したい漁業形態をイメージ
(**自営** or **雇用**)

2 研修 短期研修と長期研修

短期漁業研修(最長1週間程)

- マッチングした指導者の下で漁業体験
- 希望する漁業形態への適正や指導者との相性を確認

長期漁業技術研修(最長2年間)

- 指導者(漁業会社も含む)の漁船に乗り込み研修へ
※研修中でもアルバイト代が支給されます。

3 独立・就業の準備

- 船舶免許等の資格取得 ※県の支援あり
- 漁協への組合員加入
- 漁船漁具等の取得 ※県の支援あり

4 就業から定着へ

経営安定に向けた実践的な経営研修に移行

※県の支援あり:
自営型漁業就業者に対して3年間給付金支給。



お問い合わせ

山口県
漁業就業者確保育成センター

TEL 083-261-6612

山口県下関市大和町1丁目16-1下関漁港ビル
(山口県漁業協同組合指導課内)
FAX: 083-261-6618



詳細はこちら

林業

をはじめたい方へ

1 情報収集・相談

- 相談窓口での情報収集
(就業先や研修のコーディネート、アドバイスなどあり)
- 就業ガイダンスや相談会に参加

2 見学・体験

- やまぐち森の仕事見学ツアーに参加
- チェンソーや刈り払い機を使った林業作業を体験

※旅費等について、一部支援が受けられます。
※就業相談会や仕事見学ツアーなどの日程については、
やまぐち森林担い手財団のホームページをご覧ください。



3 研修

林業即戦力短期育成塾(5カ月間)

- 木材生産に必要な資格取得や技術習得
※研修期間中、一定の要件を満たせば、給付金が受けられます。

4 就業後

就業後も、就業状況に応じて、技術や技能を習得する各研修を受講可能

お問い合わせ

(一財)やまぐち森林担い手財団
(山口県森林整備支援センター)

TEL 083-932-5286

山口県山口市駅通り2丁目4-17
FAX: 083-934-3150
メール: yamahito@ykenshin.or.jp



詳細はこちら

新規就業をサポートします!

山口県では「担い手支援日本一」を目指し、相談から体験、研修、就業、定着までの一貫したサポートを関係機関と連携して行っています。

山口県での
就業
の流れ

農業

をはじめたい方へ



1 情報収集・相談

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等へ相談
- 就農相談会や、やまぐち就農ゆめツアーへの参加
※就農相談会やゆめツアーの日程などは、やまぐち農林振興公社のホームページをご覧ください。
- 就農形態の検討(**自営就農** or **農業法人への就業**)

2 体験

やまぐち就農支援塾及び現地農家等で
農作業を体験

3 研修

栽培技術等の長期研修(最長2年間)

やまぐち就農支援塾等の研修機関で農業経営に
必要な知識や技術等を習得するための研修を受講



4 就農・就業の準備

自営就農準備

- 就農候補地の市町・農協・農林水産事務所等と具体的な経営内容について協議
- 就農場所や経営内容を決定
- 就農時や将来の経営計画を作成

農業法人への就業準備

- 自分の栽培したい品目や地域、働き方に合う農業法人を探す
- 農業法人で働くために必要となる知識・技術・資格などを習得

5 就農・就業

自営就農

農地や施設機械等を取得して農業経営を開始

農業法人への就業

農業法人などで採用され農業を開始

お問い合わせ

(公財)やまぐち農林振興公社

TEL 0835-28-8452

山口県防府市牟礼10318
(山口県農林総合技術センター 農大校教育棟2階)
FAX: 0835-28-7671
メール: yashuno@y-agreen.or.jp



詳細はこちら